

地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携		農・林・水産業				
	地域医療・福祉・介護・教育	◎	観光・交流				
	地域コミュニティ・集落再生	◎	環境				
	地域交通・情報通信		まちづくり				
ふりがな	かぎや はじめ						
氏名	鍵屋 一						
所属	名称	跡見学園女子大学／(一社)福祉防災コミュニティ協会					
所属	役職	教授／代表理事					
連絡	住所 (職場)	〒352-8501 埼玉県新座市中野1-9-6					
	連絡先	e-mail	kagiya[アットマーク]atomi.ac.jp				
		TEL 048-478-3451	FAX 048-478-2476				
連絡方法	E-Mailでお願いします						
略歴	1956年 秋田県男鹿市生れ。早稲田大学法学部卒業後、板橋区役所入区 2000年 法政大学大学院政治学専攻修士課程修了 防災課長、板橋福祉事務所長、契約管財課長、地域振興課長、福祉部長、危機管理担当部長(兼務)、議会事務局長を経て 2015年3月退職 2015年3月 京都大学博士(情報学) 2015年4月 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科教授 法政大学大学院、名古屋大学大学院兼任講師 内閣府「災害時要援護者の避難支援に関する検討会委員」など 内閣官房地域活性化伝道師、(一社)福祉防災コミュニティ協会代表理事、NPO法人東京いのちのポータルサイト副理事長、(一社)マンション生活継続支援協会副理事長、認定NPO法人災害福祉広域支援ネットワークサンダーバード理事など						
著作・論文等	『図解よくわかる自治体の防災・危機管理のしくみ』 『地域防災力強化宣言』 『福祉施設の事業継続計画(BCP)作成ガイド』						
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体職員のときに、防災基本条例を起草。地域防災の基本書を目指した「地域防災力強化宣言」を出版。 ・防災関係の講演、自治体職員向け研修など多数。特に、全国各地で災害時要援護者支援とまちづくりの連携について話す機会が多い。 ・(一社)福祉防災コミュニティ協会代表理事として、福祉施設の福祉防災計画作成、コーチ養成、災害時の支援活動などに取り組む。他に、学校防災、マンション防災活動に力を入れている。 						

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	・内閣府地区防災計画アドバイザー(横須賀市、荒川区、高知市、吹田市、札幌市、市原市)、内閣府主催の防災こくたい、防災とボランティアのつどい、などでコーディネータを務める。
メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設が実施している防火防災計画や訓練の多くは「火災や災害時に避難する」ことでした。しかし、実際には「利用者と職員の安全な避難」「避難先での福祉サービスの継続」「福祉避難所など地域貢献・連携」などの対応が迫られます。 ・私たちは、厚生労働省の支援を受け、東日本大震災をはじめ各地の被災福祉施設、被災当事者等のヒアリングやワークショップを重ね、福祉防災計画の「ひな型」を作成しました。この社会実装を進めるため、これに基づいた福祉防災計画作成や認定コーチ養成研修等を実施します。 ・すべての福祉施設が、大災害にも対応できる福祉防災計画を作成し、福祉職員の災害対応能力向上と平時からの魅力増進を支援することが、福祉防災コミュニティ協会のミッションです。 ・災害時には、役員、認定コーチ、施設職員らがここで培ったノウハウを活かすとともに、福祉広域応援を行います。
関連ホームページ	http://www.atomi.ac.jp/univ/ http://fukushi-bousai.jp/
活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。